

1. 水道ビジョンの目的

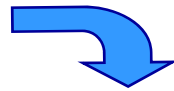
「今後の水道の質的向上のための方策について」(平成2年11月)
「21世紀に向けた水道整備の長期目標(ふれっしゅ水道)」(平成3年6月)



「21世紀における水道及び水道行政のあり方」
(水道基本問題検討会、平成11年7月)

平成13年水道法一部改正

我が国の水道を
取り巻く環境の変化



水道事業の抱える
課題の深刻化

現状及び将来の見通しの分析・評価

今後の水道の在るべき姿



関係者の共通目標の設定
今後の政策課題の明確化
具体的な施策、方策等の明示

3. 目指すべき方向性

—水道関係者の共通目標—

世界のトップランナーを目指して
チャレンジし続ける水道

自らが高い目標を掲げて、常に進歩発展
将来にわたって需要者の満足度が高くあり続け、
需要者が喜んで支える水道

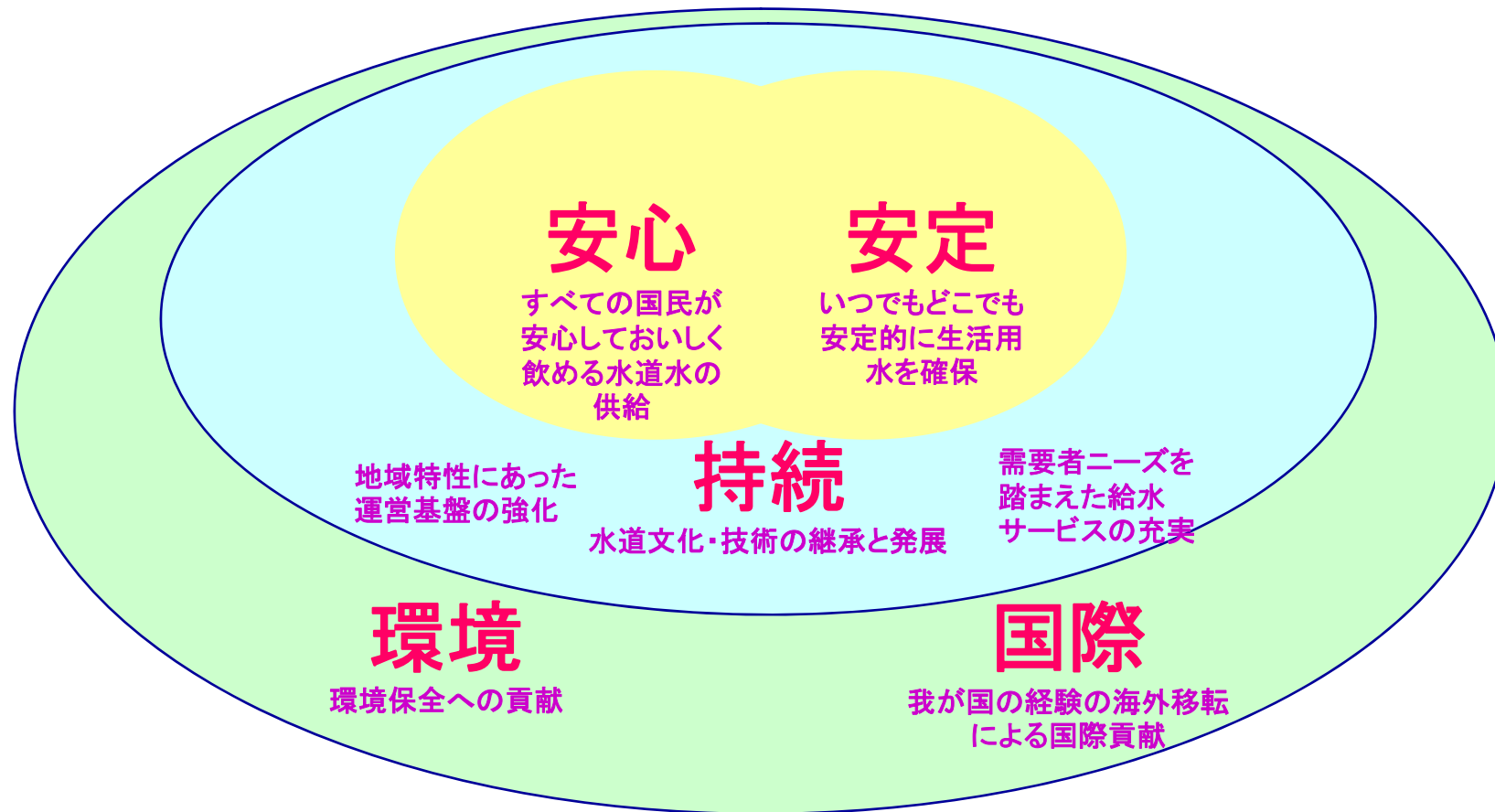
あらゆる分野で世界のトップレベルの水道

<安心><安定>

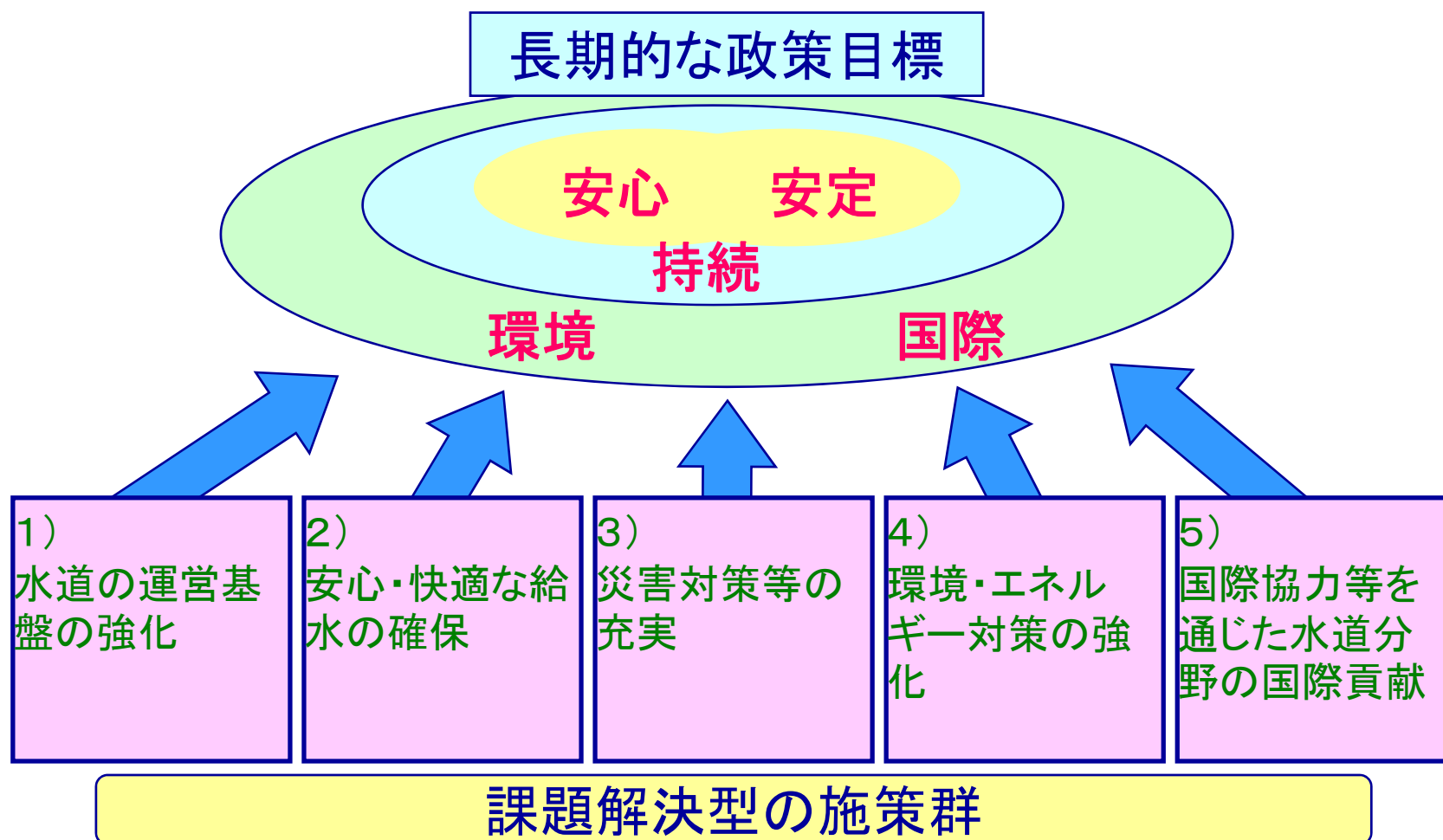
<持続>

<環境><国際>

4. 長期的な政策目標



5. 政策目標達成のための総合的な水道施策の推進



1) 水道の運営基盤の強化

状況

- ・人口の減少
- ・水道施設整備への投資額の減少
- ・施設の老朽化・更新需要
- ・経営基盤が脆弱
- ・技術基盤の危機

施策課題

- ・新たな概念の広域化の推進
- ・新たな社会情勢に対応した最適な事業形態の選択
- ・中長期的財政収支に基づく計画的な施設の整備・更新
- ・公平で適正な費用負担による給水の確保

主要施策

- ・新たな概念による広域化の推進及び集中と分散を最適に組み合わせた水供給システムの構築
- ・最適な運営形態の選択及び我が国の水道にふさわしい多様な連携の構築
- ・コスト縮減を行いつつ適切な費用負担による計画的な施設の整備・更新

解決

2) 安心・快適な給水の確保 — 水質管理対策の強化 —

状況

- ・水道水源の水質の悪化と水源から給水栓までの水質管理の必要性
 - ・貯水槽水道及び給水管・給水用具における水質の問題
- ・未普及地域の存在と未規制水道における衛生管理の不徹底
- ・汚染リスクに係るリスクコミュニケーションの必要性

施策課題

- ・未規制施設対策の推進及び給水安全度の向上
- ・水質管理の徹底、連携の強化及び情報公開の推進
- ・効率的な技術の導入により、サービス水準の向上を実現

主要施策

- ・原水から給水までの統合的アプローチによる水道水質管理水準の向上
- ・未規制施設等小規模な施設の水質管理対策の充実
- ・給水管・給水用具の信頼性の向上
- ・より高度な水質管理技術の導入の促進

解決

3) 災害対策等の充実

状況

- ・水道なしでは成り立たない生活様式、社会経済活動
- ・施設の耐震化、応急給水拠点整備の不足
- ・渇水が頻発する水系からの取水
- ・テロ対策の充実

施策課題

- ・災害対策の充実と基幹施設を中心とした水道施設の耐震化の推進
- ・地域の特性を踏まえた渇水対策の推進
- ・相互連携、広域化による面的な安全性確保、投資の最適化に向けた関係機関との連携

解決

主要施策

- ・地震対策の充実、確実な対応
- ・地域特性を踏まえた渇水対策の推進
- ・相互連携、広域化による面的な安全性の確保
- ・災害発生時の事後対策の充実

4) 環境・エネルギー対策の強化

状況

- ・温暖化対策、廃棄物減量化の推進の必要性
- ・水道事業はエネルギー消費産業
- ・健全な水循環の阻害

施策課題

- ・資源消費の節約、廃棄物減量化等の環境負荷の低減、水の持つエネルギーの有効利用等による環境保全への貢献
- ・水利用システムの水循環系の中での再構築

主要施策

- ・水道運営への経済性と環境保全のWin-Winアプローチの導入
- ・水利用を通じた環境保全への積極的な貢献
- ・健全な水循環系の構築に向けた連携強化・水道施設の再構築

解決

5) 国際協力等を通じた水道分野の国際貢献

状況

- ・途上国における衛生的な水供給の深刻な不足
- ・水分野での最大のODA供与国
- ・我が国の経験を活かした国際協力のための中心的人材組織の拡充等の必要性
- ・水道における国際化の動き

施策課題

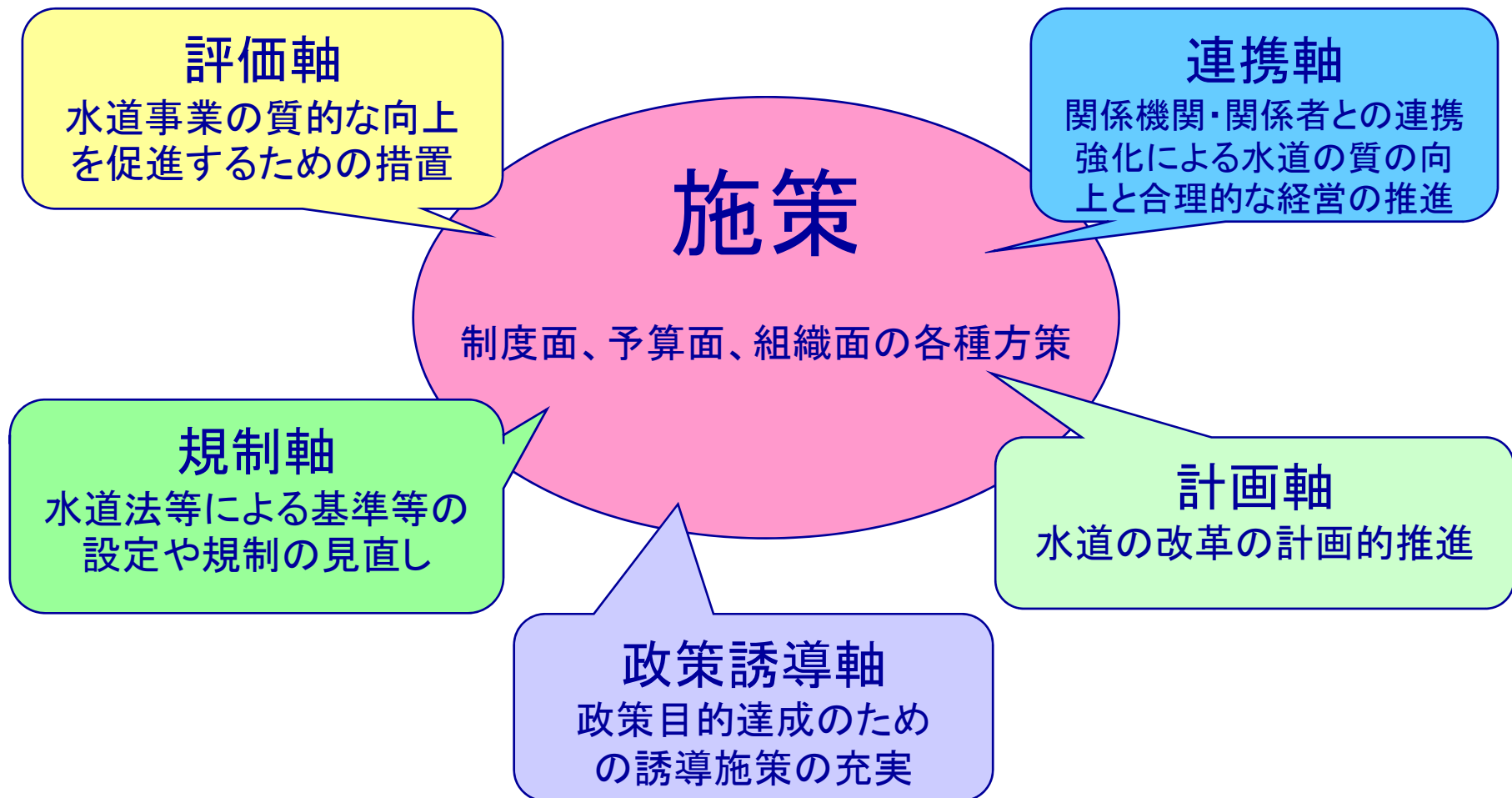
- ・我が国の経験を活かした諸外国の技術水準向上への貢献
- ・さらなる国際展開のための国内体制の整備
- ・国際化の推進及び国際競争力の強化

解決

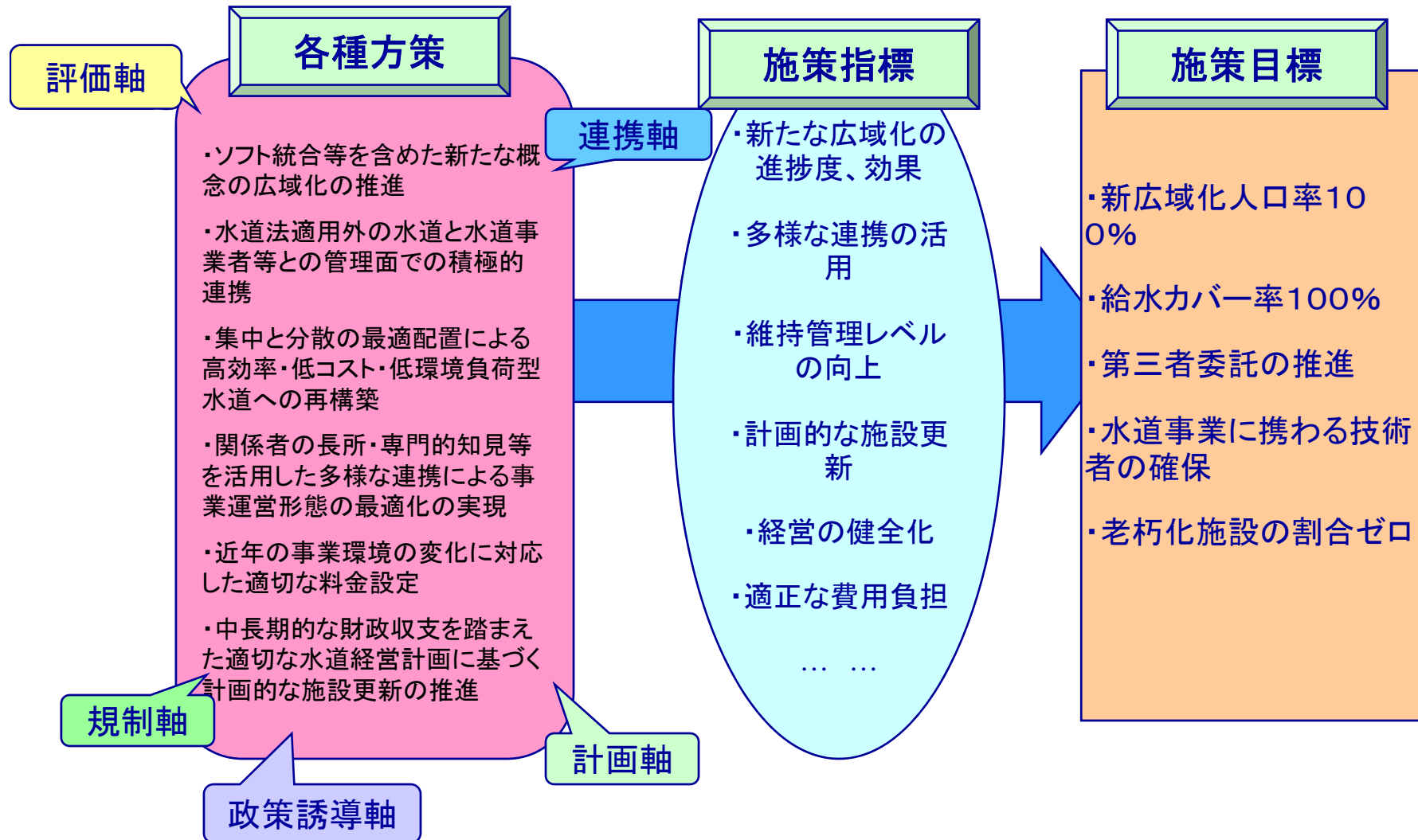
主要施策

- ・水道分野の国際貢献の推進
- ・国際調和の推進等我が国水道の国際化

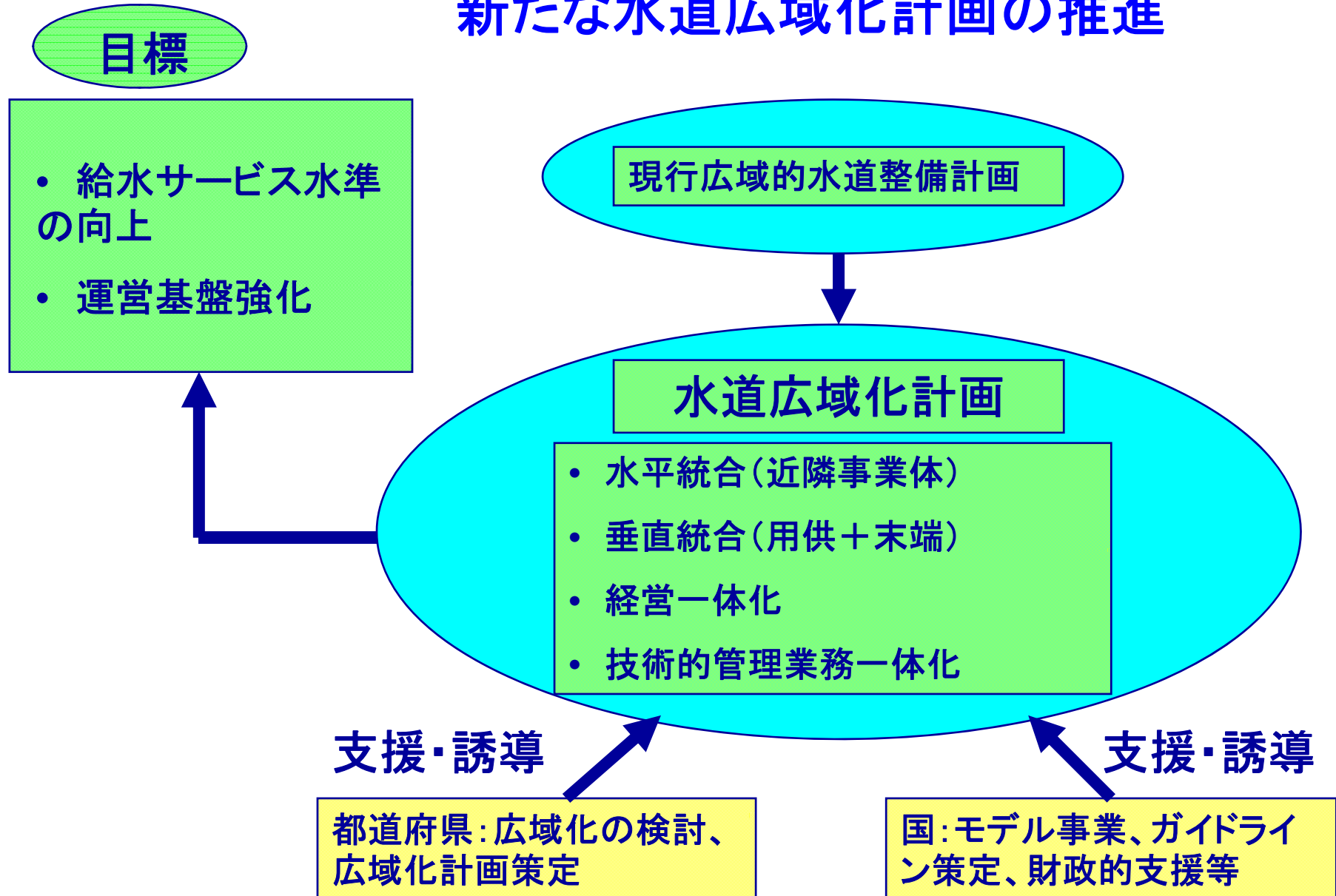
6. 各種方策の連携による 目標の早期達成



ア. 水道の運営基盤の強化に係る方策



新たな水道広域化計画の推進



多様な連携の活用による運営形態の最適化

持続的に清浄・豊富・低廉な水供給確保
顧客満足度の高い水道

第三者機関
公正な立場からの
パフォーマンス評価
等

多様な選択肢から事業形態を最適化/
意思決定プロセス・パフォーマンス情報の公開

水道事業者

- ・大規模事業を中心とする運営管理の共同化
- ・共同での施設管理 等

水道事業者

水道事業者

専門的な知見、ノウハウの提供等

業務委託

制度整備、ツールの提供等

民間事業者等

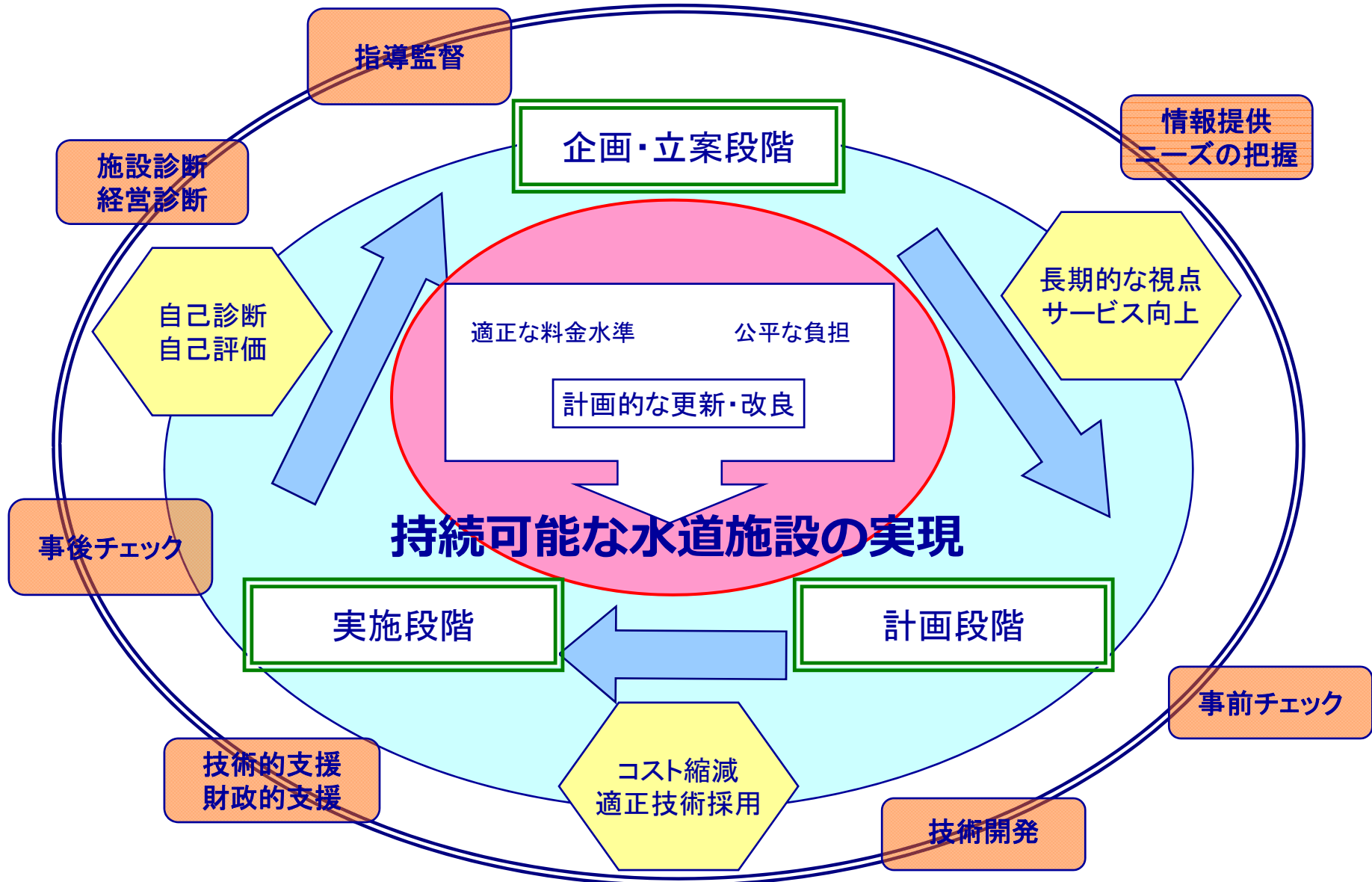
- ・受託のための技術力等向上
- ・多様な事業形態提案
- ・効率的な管理技術開発 等

行政(国、地方公共団体)

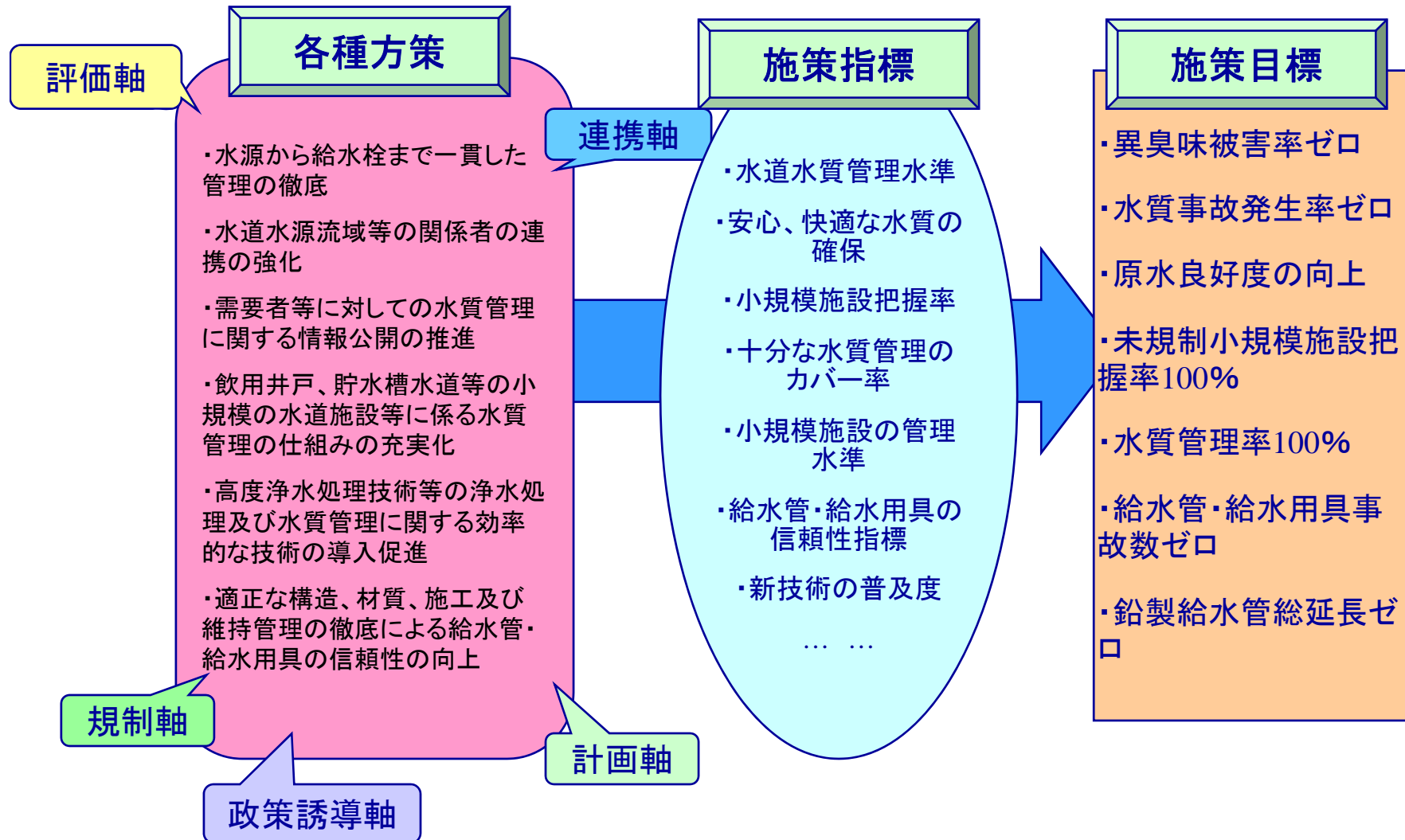
- ・モデル事業、手引き類整備等による実施促進
- ・実施事業者の監督
- ・管理技術等の開発支援 等

パートナーシップ

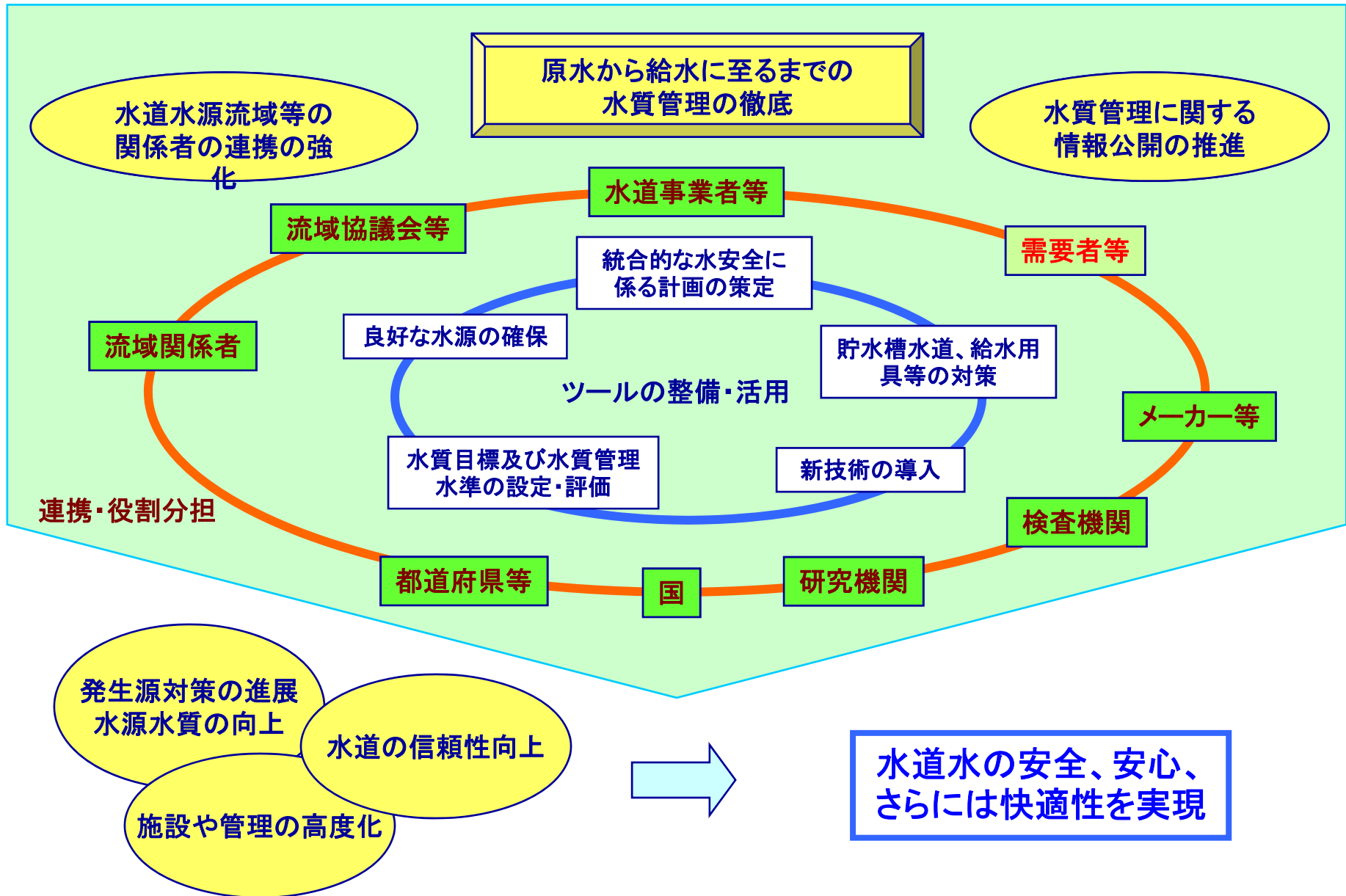
持続可能な水道を目指した運営・管理強化



イ. 安心・快適な給水の確保に係る方策

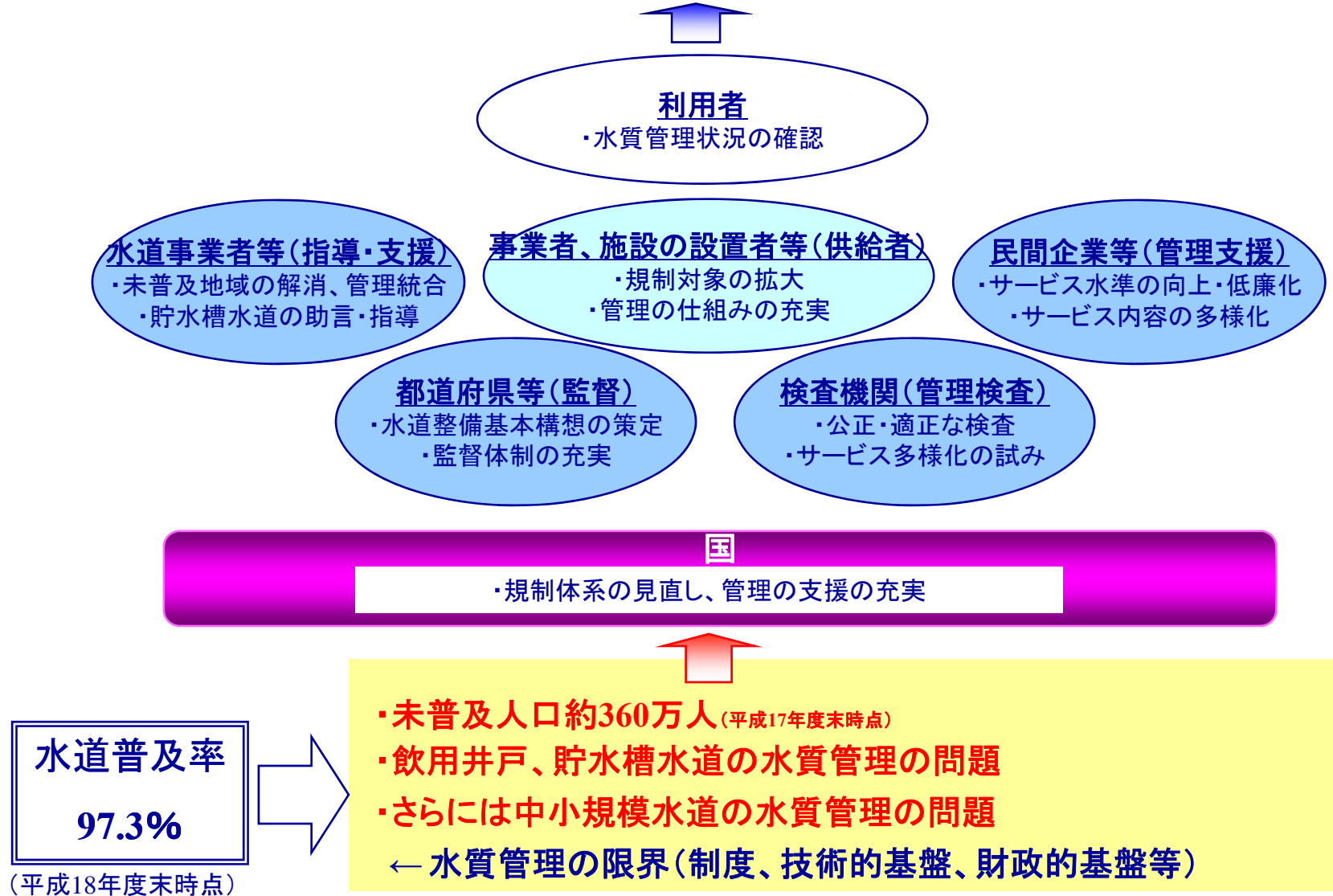


統合的アプローチによる水道水質の向上

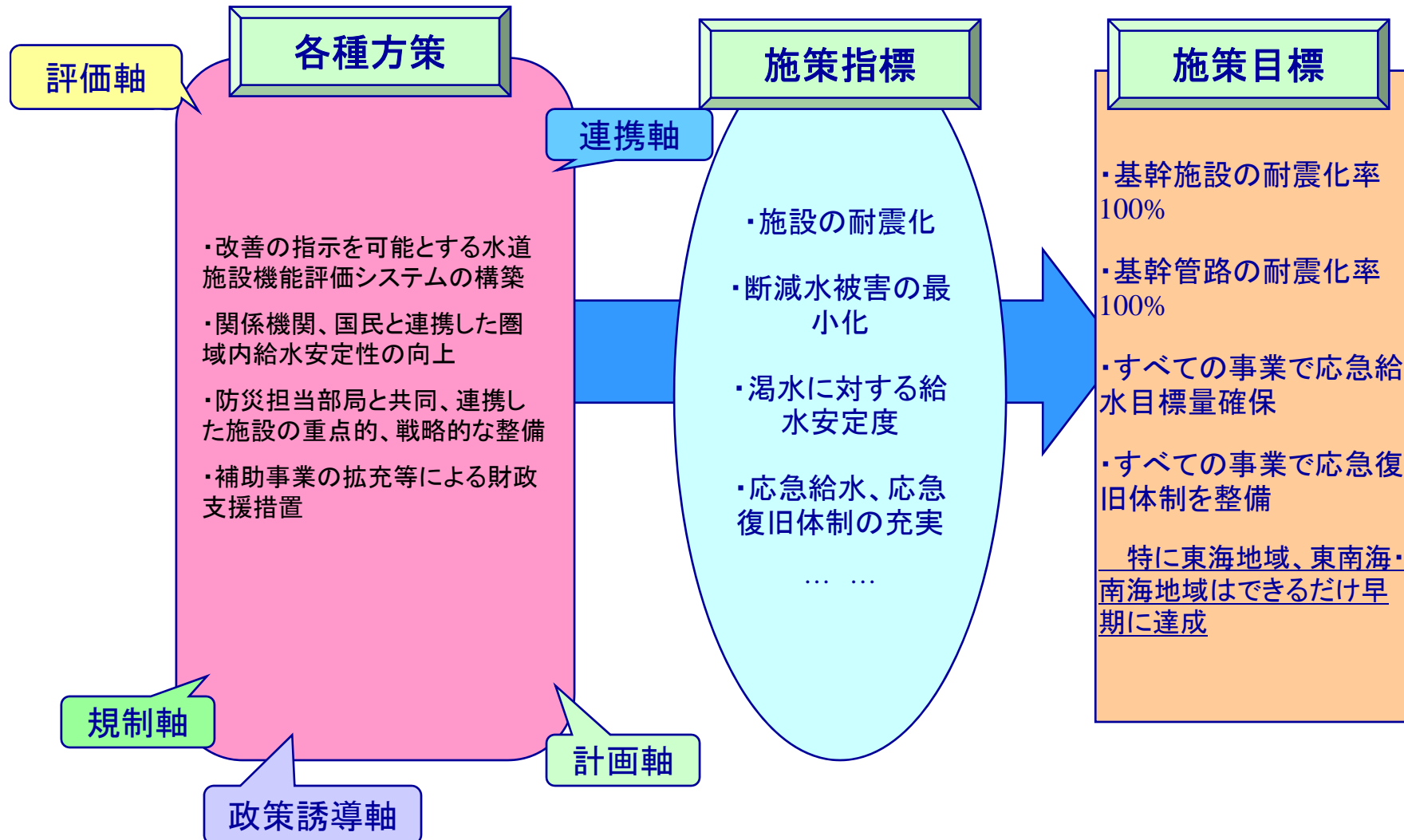


水質管理率100%プログラム(小規模施設の管理充実)

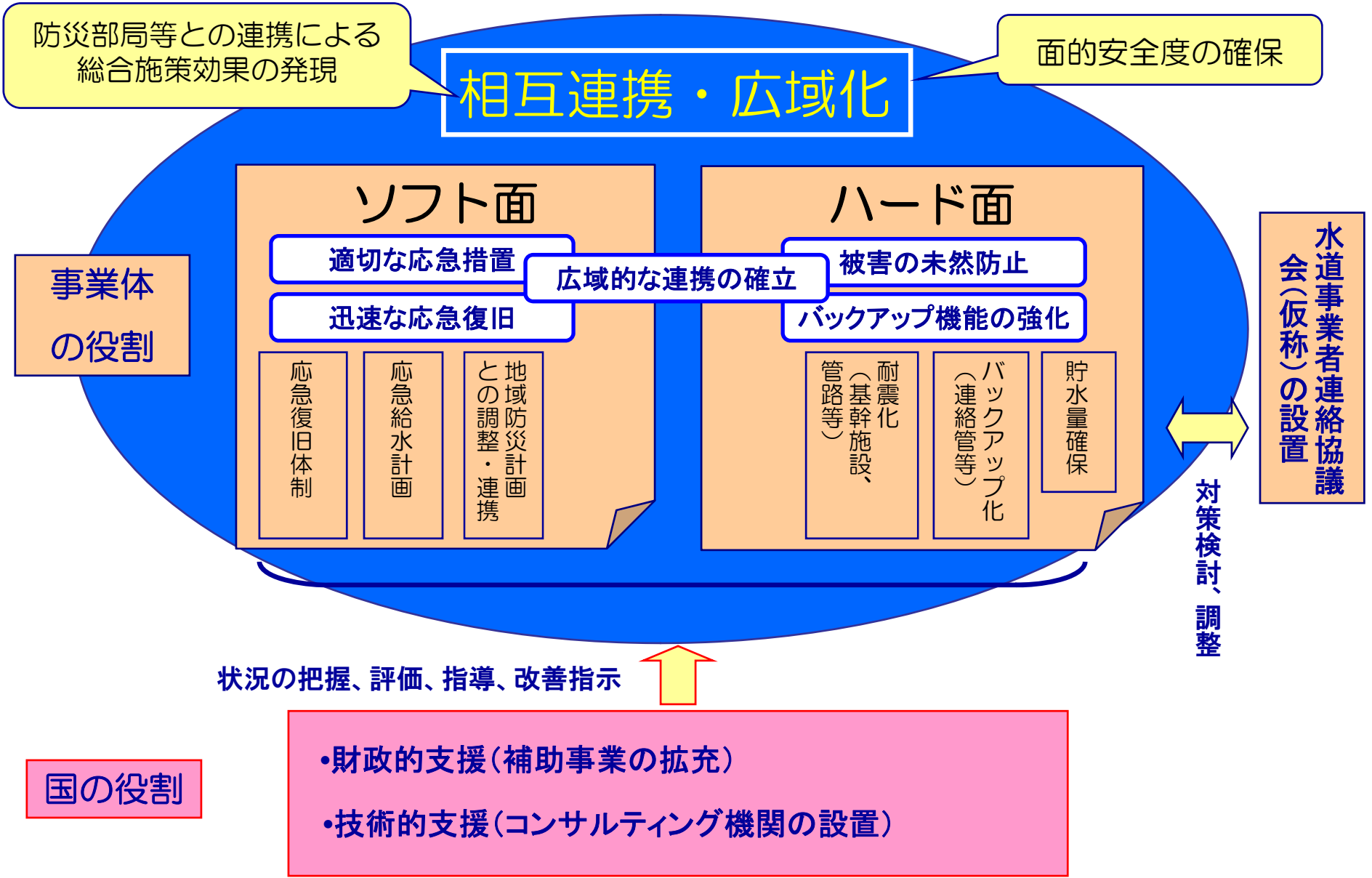
～だれでも・どこでも・いつでも 安全安心な水質を保証する体制の実現～



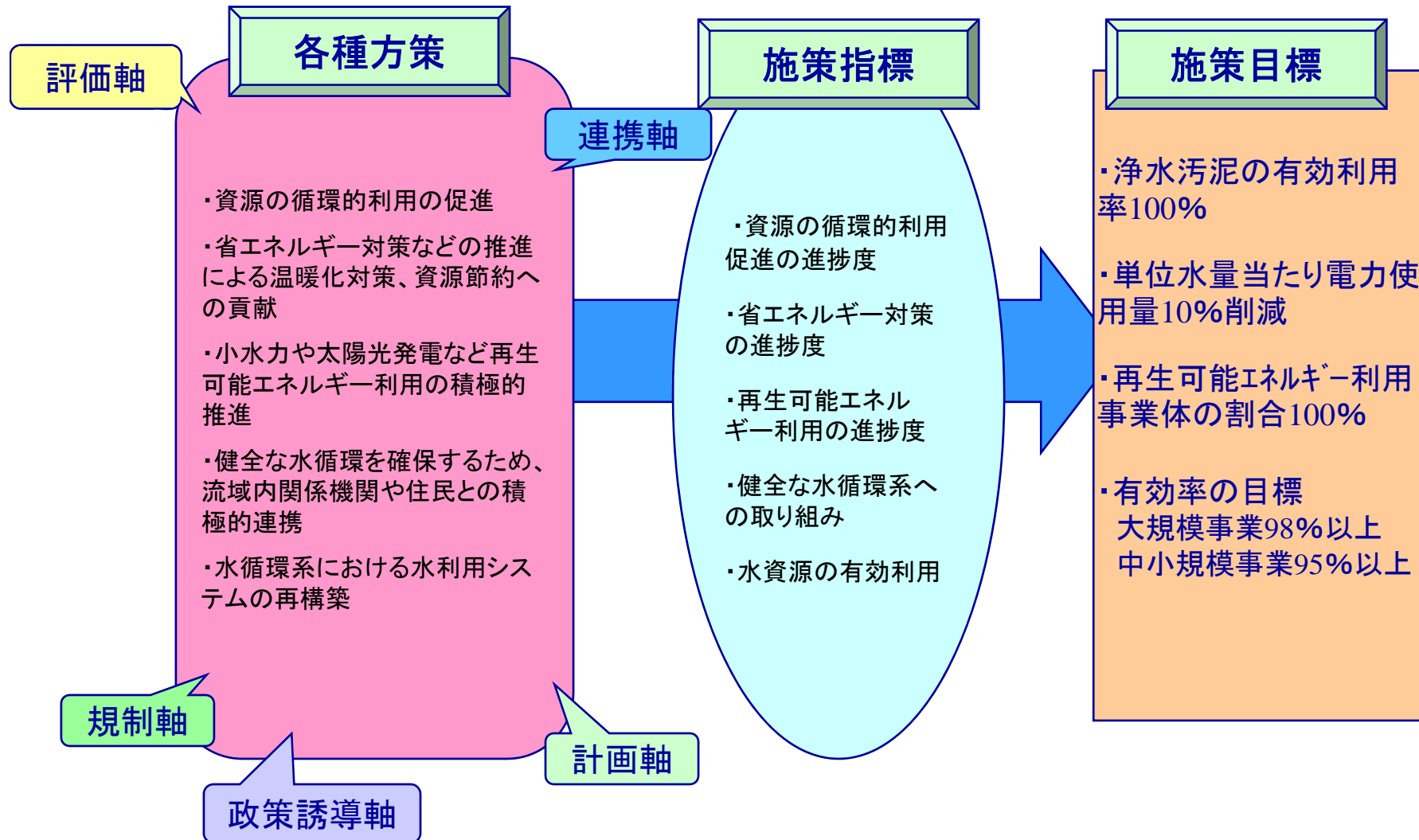
ウ. 災害対策等の充実に係る方策



相互連携・広域化による面的な総合災害対策

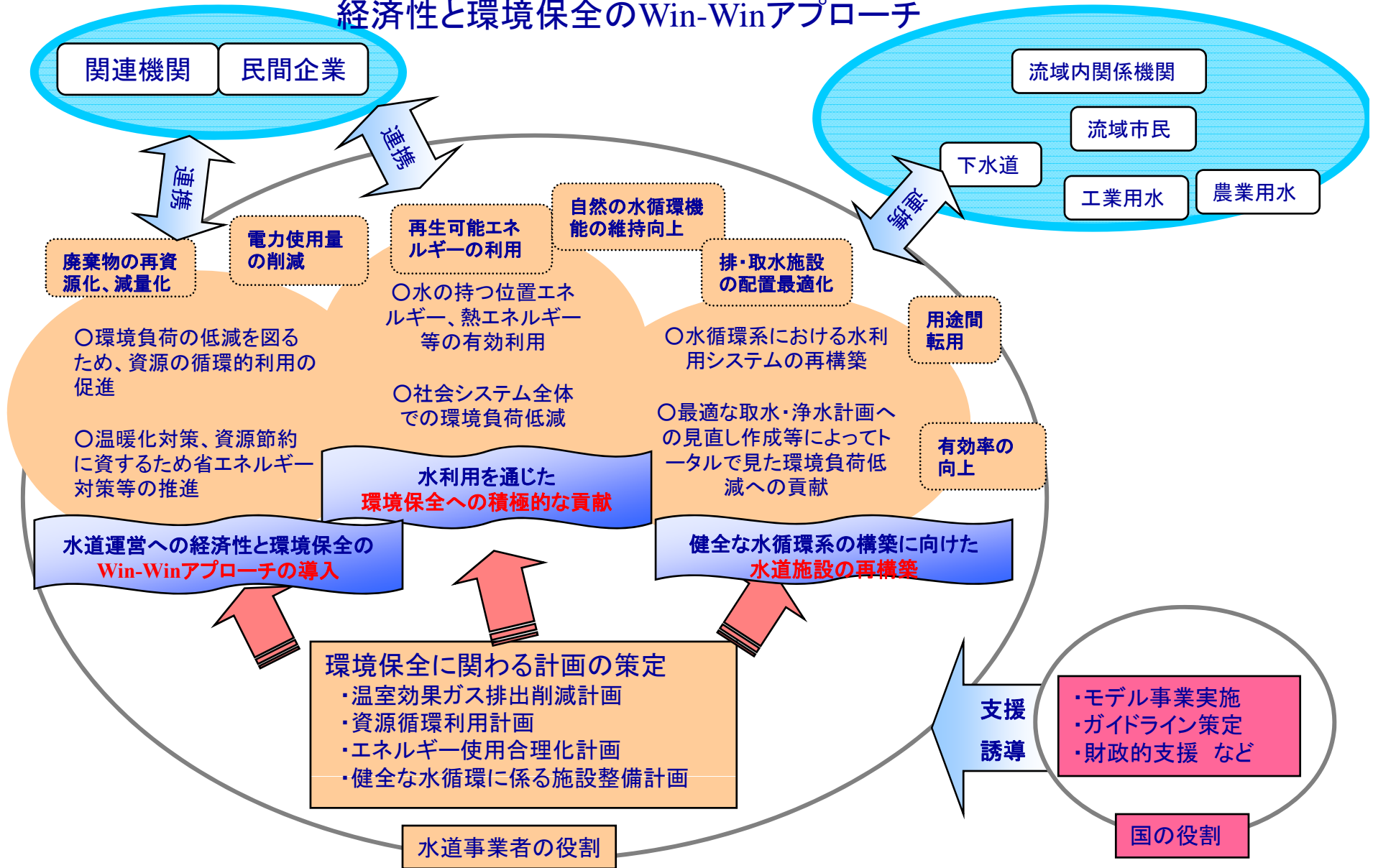


エ. 環境・エネルギー対策の強化に係る方策

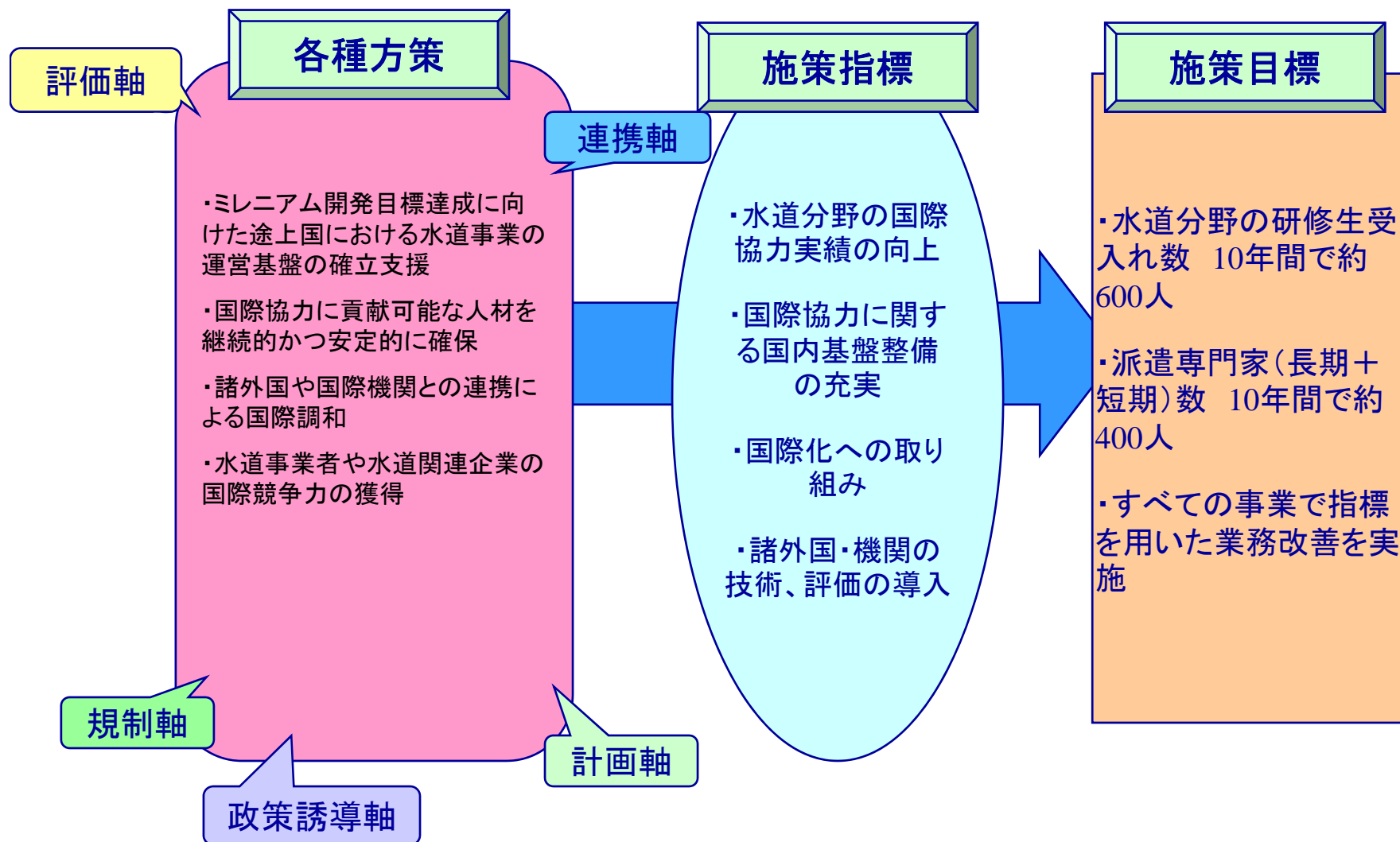


環境・エネルギー対策の強化

経済性と環境保全のWin-Winアプローチ

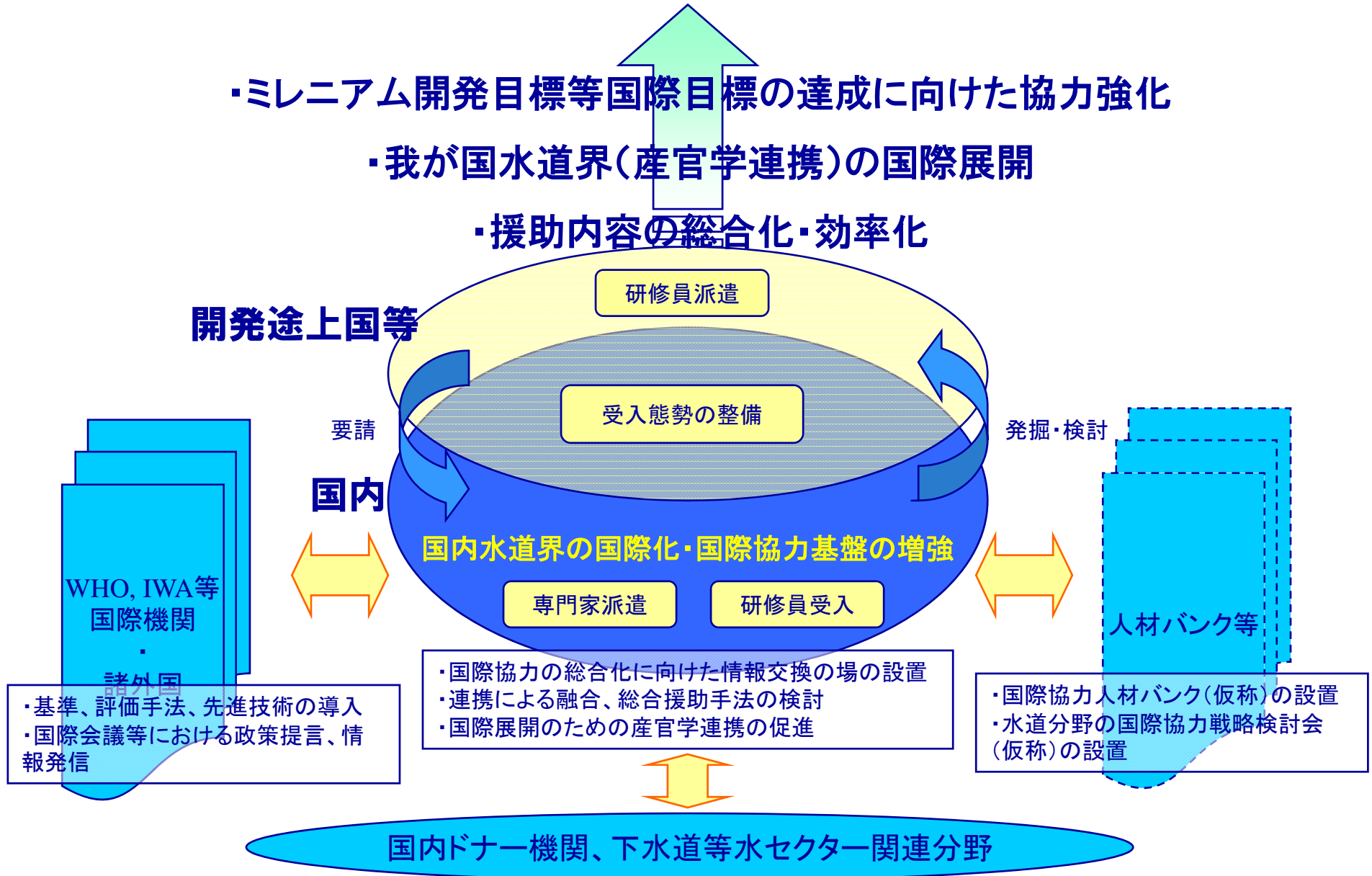


オ. 国際協力等を通じた水道分野の国際貢献に係る方策



国際化・国際貢献推進方策

- ・ミレニアム開発目標等国际目標の達成に向けた協力強化
- ・我が国水道界(産官学連携)の国際展開
- ・援助内容の総合化・効率化



7. 関係者の参加による目標の達成

水道ビジョンの目標の達成

